

# 平和憲法・9条を守る 岩手の会 ニュース No.37

2008.9.10

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 事務局会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019 - 684 - 2225

FAX019 - 684 - 2227

第23回岩手県平和美術展

## 世界に平和を！核兵器廃絶を！

「世界に平和を！核兵器廃絶を！」を訴え第23回岩手県平和美術展（同実行委員会主催）が8月6日～10日、盛岡市民ホール（マリオス）展示ホールで開催されました。

平和、核兵器廃絶の願いを込めた小学1年生から80代の方までの123人が作成した絵画や写真、書など229点が展示され、700名余りの方が鑑賞されました。



吉田大成君の作品

小学6年生の吉田大成君の「戦争反対」「核戦争」、小坂蓉子さんの「大地」「そして誰もいなくなった」、

昆野寛顯さんの原爆ドームを描いた「鎮魂」、及川禮助さんの書道「日本国憲法前文」、小杉正男さんを始め4名が協同作成した「南京大虐殺七〇年 - 怒りの大地を行く - 」等が注目されました。

今回は特別企画として、広島に原爆が投下されて6日後と2ヵ月後に撮影した3メートルの大きな写真が展示されました。見渡す限り無惨に破壊された広島市内の全景写真は、見る人に大きな衝撃を与えました。

美術展を訪れた方々からは、「子ども達の作品も直接平和を訴える物があったのには驚いた。」「平和を訴える作品に感激した。」高校生や大学生からは、「原爆写真を見て大変ショックを受けた」「南京大虐殺のことは知らなかった。今ある平和に感謝して、私の出来る事を精一杯頑張ろうと思う」等々の声が寄せられました。

また、特別企画ギャラリートーク「被爆者体験を語る」では、岩手県原爆被害者団体協議会の方々5名が午前と午後2回被爆者体験を語りました。これには、50名の方々が熱心に話を聞き、80代の女性は「私の主人は、長崎の軍需工場で被爆し苦しんで亡くなった。二度とこのような悲惨な思いはしたくない。」また高校生から「原爆が落とされた日に平和美術展を開く事は大変良いこと、私は戦争の悲惨さは知らなかった。大変勉強になりました。」等のアンケートが寄せられました。



（岩手県平和美術展実行委員会 事務局長 四谷 正男さんより報告）

### 署名行動

10月は、9日（木）に大通り野村證券前にて行う予定です

前々回の様子

8月は、9日（土）に大通り野村證券前で行いました。63年前の8月9日は、長崎に原爆が投下された日ということで、17:00から“夕涼み宣伝”と題して15人が参加して行いました。水ヨーヨーを配ったりしながら、いつもより賑やかにいき、76筆を集める事が出来ました。

9月も9日に同じ場所で昼時間に行い、9名の参加で49筆を集める事が出来ました。

‘08いわて平和のつどい

# 肥田 舜太郎 医師

広島から6<sup>ヶ月</sup>離れた所で診療中に被爆  
の講演から(8月24日)



原爆投下後の生々しい肥田先生の体験は、映像のようにリアルに頭の中に入ってきました。

目がふくれて鼻はなく、口が腫れ上がって顔の半分までになり、生皮が剥がれ、ウーウー言いながら焼けて真っ黒になった人が手を前に垂れ逃げてくる。川に飛び込む多くの人。川を流れてくる多くの死体。死体でできた土手。その上を歩いて逃げる真っ黒の人たち。助かっても、紫の斑点が皮膚に現れ、髪がなくなり、吐血して死んで行く人たち。

これが放射線の影響だと分かったのは後のことでした。

原爆は一瞬にして何もかも奪い、自分がどうなっているのか、なぜこうなったのか理解できないまま、恐怖と痛みと苦しみの中で死ぬことだといいます。さらに、体内被爆をした人は、どこの病院に行っても何も無いと言われ、原因不明のまま苦しんでいます。

先生は、1番の敵はアメリカ。2番は日本政府。次に日本国民に対する不信感が被爆者にはあると話しました。誰も言わないけれど、人工的に苦しめられ、人権を奪われ、今なお、1世、2世は苦しんでいる。心を閉ざした被爆者に「ただ助けてと言っているだけではいけない。勇気を持って、社会に開き直って人間として生きなさい、国民はそんな人のお手伝いをするほど暇じゃない、核兵器を持つなと言いなさい」と話してきたそうです。

戦争のために日本の9条を変えようとしていると先生は話します。「日本政府に何を言ってもしょうがない。アメリカに直接軍隊は出て行ってくださいと言う。そして我々は敵対関係にはなりません。でも商売だけはさせていただきますと言う。丸腰になったところに攻めてくる国なんてない。日本は筋を通してアジアに謝って、アジアの仲間に入れてもらえばいい。戦争をしないでまとまろうとしている国が数多く出て来ている」と91歳とは思えないほど、しっかりとお話してくださいました。核兵器の恐ろしさを伝えるため、日本だけでなく、海外にも出かける先生から勇気ももらいました。



(岩手県保険医協会 中村恵さんの報告より抜粋)

\*講演の内容を詳しく知りたい方は、インターネットで「肥田舜太郎氏講演録 盛岡」と検索してみてください。「葺の筆」というページ上に掲載されています。

9条をまもる  
岩手の会

## 学習講演&活動交流会

9条を守れと訴える私たち思いが、今全国で7,000を超える会・組織という形で現れを変えなると言う声が過半数を超えました。今改めて県内のみなさんに参加いただき交流をする中で今後の運動のエネルギーを充電していこうと、学習講演・活動交流会を開催する事としました。是非みなさん積極的に参加してください。(詳しくは次号

日時；2008年11月29日(土)10:30~15:00

午前：学習講演会、午後：活動交流会の予定

場所；盛岡市内で検討中

講師；伊藤千尋さん(朝日新聞記者/ジャーナリスト)

